

NRT5 基本情報

■ 受付場所と連絡先

	受付場所	稼働時間	担当部署	連絡先
通常納品	S2-S6Dock	08:00-17:00 ※繁忙期除く	インバウンド入荷 受付	080-4792-1351
資材納品	S9 Dock	日勤 8:00~19:00 夜勤 20:00~6:00 ※繁忙期除く	アウトバウンド 資材受付	070-1201-9864
出荷積込み	N2~N4Dock S1~S4Dock	日勤 8:00~19:00 夜勤 20:00~6:00 ※繁忙期除く	アウトバウンド 出荷受付	070-1486-4709
Reactive In / Out (横持)	N14,N15Dock	日勤 8:00~19:00 夜勤 20:00~6:00 ※繁忙期除く	アウトバウンド 集荷受付	070-1486-4717
返品積込	1F N15 Dock	9:00~18:00	ベンダー リターン	0492-90-0437
返品納品	1F S14	8:00~17:00	カスタマー リターン	080-4053-8169
廃棄物積込	1F S7 Dock 3F S5 Dock	9:00~18:00	ECO	080-4082-9344

■ 避難経路

地震(震度5以上・火災発生時)

非常ベルが鳴ったら、すぐに作業を中断
館内放送に従い、南屋外避難場所に避難
最寄りの階段や非常口から避難

避難場所に到着したら、整列して点呼を受ける。
点呼完了後は指示があるまで座って待機。



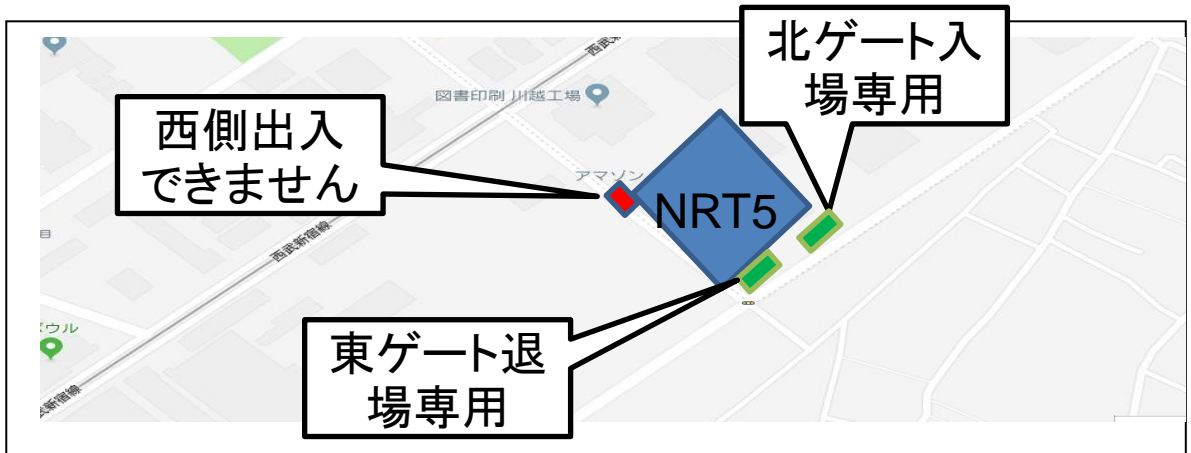
NRT5 基本情報

■ 受付可能な車両 (レバラーの数には限りがありますので原則エアサス車でご来構下さい。)

Outbound		
トラック形状	受け入れ可否	備考
2t トラック	○	※標準ドック高±20cmの荷台高受け入れ可能
4t トラック	○	
10t トラック	○	
エアサス車ではないトラック	×	
ウィング車(フォークリフト横降ろし)	×	
ウィング車(後方ハンドリフト降ろし)	○	
バン	×	
軽バン	○	
軽トラック	×	
荷台露出しているトラック	×	
コンテナ車 (海コン・鉄道コン)	×	
トレーラー	×	
乗用車	×	
冬用チェーン装着車両	○	
スタッドレス/ミックスタイヤ装着車両	○	
※その他注意事項	特になし	
受付可能な荷台天井の高さ	280cm	
受付可能な荷台の高さ		標準ドック:90cm 対応可能高さ:80cm ~ 100cm (2t車特例有) ドックレバラー設置:あり 設置箇所:N4,N14 レバラー設置ドック:90cm 対応可能高さ:80cm ~ 100cm
ラッシングバーの置き方		ラックヘセット (N14のみ床置き)

Inbound		
トラック形状	受け入れ可否	備考
2t トラック	○	※標準ドック高±20cmの荷台高受け入れ可能
4t トラック	○	
10t トラック	○	
エアサス車ではないトラック	×	
ウィング車(フォークリフト横降ろし)	×	
ウィング車(後方ハンドリフト降ろし)	○	
バン	×	
軽バン	×	
軽トラック	×	
荷台露出しているトラック	×	
コンテナ車 (海コン・鉄道コン)	一部Dockのみ可	S3 ※鉄道コン対応不可
トレーラー	×	
乗用車	×	
冬用チェーン装着車両	○	
スタッドレス/ミックスタイヤ装着車両	○	
※その他注意事項	特になし	
受付可能な荷台天井の高さ	280cm	
受付可能な荷台の高さ		標準ドック:90cm 対応可能高さ:80cm ~ 100cm (2t車特例有) ドックレバラー設置:あり 設置箇所:S3,N14 レバラー設置ドック:90cm 対応可能高さ:65cm ~ 115cm
ラッシングバーの置き方		床置き

入出時の注意点

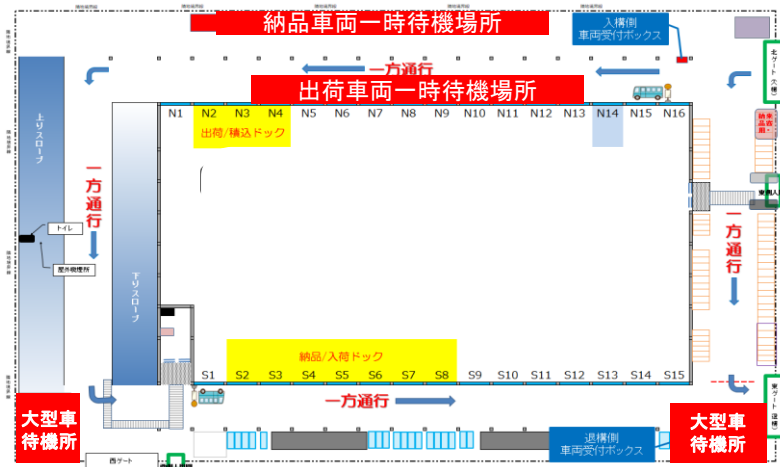


■ 入構出構に関する注意点

- ・周辺路上での長時間停車並びに不法投棄はおやめください。敷地内共用待機場場/Amazon待機場場をご利用ください。
- ・入場は北ゲートのみ。退場は東ゲートのみとなります。
- ・西側ゲートからは入退場できません。
- ・入場、退場について右折、左折禁止などの制限はありません。
- ・積雪時、3階ドックへ入場する際は、タイヤにチェーンを付けていただく場合がございます。
- ・車両から降りるときは必ずサイドブレーキをかけ、輪留めの実施をいただけますようお願いいたします。
- ・道路での待機はご遠慮ください。

構内について

案内図



■ 受付の流れ

※構内は反時計回りの一方通行にご協力ください。

- ①敷地へ入構し、車両受付ボックスで入構記録受付（入館記録簿に車両情報をご記入ください）
- ②入構証等の貸与品を受け取りましたら、車両を一時待機場所へ移動させてください。
一時待機場所に停車後、宛先ドック担当までご連絡ください。
- ③ドック担当者から着車場所をご案内いたします。
- ④着車場所をご案内されましたら該当のドックへ着者して下さい。
待機いただく場合は一時待機場所での待機をお願いいたします。
- ⑤着車後、弊社担当にトラックの鍵をお預けください。
- ⑥退構時は②でお渡しした入構証等をBOXにご返却ください。

建物内侵入区画でのルール

ドライバー様と庫内作業員 双方の安全のため、
ルールの順守 ならびに倉庫内従業員 の指示に従って下さい

1. 商材の積荷の高さは **パレット込みで160cm 以下**
建物内に入る前にトラック内での積み替え等の対応をお願いします。

横持ち品と梱包資材のみ、例外容認されていますが
原則 160cmより高くにある商材・荷物は
車内で降ろしてから建物に入れて下さい。

2. ハンドフォークは元の場所に戻し**ハンドルを90度**にする



ハンドフォークから離れる際、**元の置き場**に戻して
・爪をパレット奥まで挿し込んでください。
・ハンドルを90度に曲げてください。
つまづき・誤発進による事故などを防ぐ目的です。
※ロールボックスの下は **禁止** です。

3. ラッシングバーはラックに挿してロック or 車から出さない



ラッシングバーはドック両サイドにあるラックに挿しましょう。
写真のように**ロックを掛けないと倒れる**ため危険です。

ラックに挿さないのであれば、車から出さないように
お願いします。

4. コンベヤに無理やり荷箱を押し込まない

段ボールの押し込み禁止!!



★ドライバー様へのお願い★

無理な段ボールの
押し込みはご遠慮下さい!!
段ボールの押し込みにより
作業者がカッターで手を切る
怪我が発生しております!!

段ボールの押し込みはご遠慮下さい
受傷災害が発生しております!!

※荷箱の無理な押し込みにより、
下流の作業者がカッター切創事故に遭いました。
荷下ろしが忙しい場合でも焦り作業はお控えください。
また、それによる段ボールの押し込みは事故のもととなります。
よろしくお願いします。

ラインテープのルール

①

白い線の内側
に収める

② ↑ ↑ 紫のラインまでは作業可能/それより向こうは立ち入り禁止 ↑ ↑

③

防災区画
(トラシマ)
物を置かない

④

歩行帯(避難経路)
置きっぱなしは禁止

空RB3本連結バンド運用手順

- 1.ドックに設置されているバンド2本を取る
- 2.空RB3本の両脇に2本のバンドを取り付ける



- 3.一番内側のRBを組み立てる
- 4.RBの開口部を両手でしっかり持ち、移動させる



- 5.FC内へ運搬が完了したらバンドを取り外す。
※FC内作業員へ引き渡す場合はバンド着用のまま作業員へ引き渡し1~5を繰り返し車両内ロールボックスをFC内へ搬送する。

- 6.内側の組み立てているロールボックスを折りたたむ。
- 7.1~6まで繰り返し車両内ロールボックスをFC内へ搬送する。

その他

■ FCでのロールボックス搬送ルール

【ドライバー様の作業範囲について】

・拠点作業者の指示に従い、ドック前に置かれたRBまたは拠点作業者から渡されたRBを荷積みしてください。

紫のセキュリティラインを超えてRBを取りに行く、または搬送することは厳禁です。

※体調不良等で紫のセキュリティラインを超えて移動する必要がある場合は、必ず拠点作業者へお声がけください。



【傾斜部での作業について】

・ヤマトロールボックスについて、原則、傾斜・段差の場所では、ロールボックス転倒を防止するため、進行方向に対して背面を横向きにして運搬をお願いします。



【JPロールボックスの作業について】

・JPロールボックスは畳んだ状態では運ばず、必ず底板まで組立てた状態で搬送をお願いします。

